

学校図書館支援センター通信 NO.53 3月号

平成23年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



学校図書館の有効な活用方法に関する 調査研究のまとめ

文部科学省より依頼を受けて行った「確かな学力の育成に係る調査研究②学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究」について、協力校の鶴指小学校・大洲小学校・第七中学校の担当者と、事業委員会及び事務局のメンバー（学校図書館支援センター通信No.4 4 5月号参照）で、2月21日に合同会議を開き、今年度のまとめを行いました。

本年度は、3校合わせて延べ217単元にわたって、学校図書館を活用した授業が展開されました。

特に鶴指小学校と大洲小学校では、国語科を中心に新しく教科書に加わった単元において、図書資料を有効に活用した授業に取り組みました。第七中学校では、昨年度の4教科の実践からさらに3教科増え、7教科で学校図書館を活用した授業が行われました。

成果としては、

- ・学校図書館を活用する場面が増えたことで、子どもたちの足が自然と図書館へ向かうようになった。
 - ・学年に応じたカードやワークシートの開発により、発達段階に応じて学校図書館を活用した調べ学習をすることができるようになり、子どもたちの学習が深まっていった。
- などが上げられました。

事業委員長である東京学芸大学の大熊徹教授からは、「3校とも、調べ学習における学校独自のスキルができあがっている。これからは、単元を貫く言語活動の充実が求められるので、市川市ならではの、学校図書館を活用した授業展開の発展を期待している。」というお話がありました。

3校の授業実践は、「生きる力・夢や希望を育む学校図書館 研究紀要」にまとめて、各学校に配付いたしますので、学校図書館を活用した授業実践の際に参考にしてください。



学校図書館ネットワーク会議Ⅱ



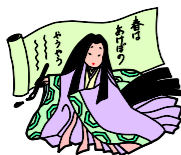
2月号（No.52）の続きです。学校図書館ネットワーク会議で発表を行った、大洲小学校の発表内容についてご紹介します。

今年度、大洲小学校では国語科における古典分野の単元に積極的に取り組みました。

伝統的な言語文化について、学校図書館の活用をとおして古典に親しむ態度の育成を行い、親しみやすい古文を音読できるようにしました。

5年生の「日本の文化を考える」では、物語の生まれた時代へタイムスリップするという副題を設定し、文中の言葉（単語）に着目させて「古典同時通訳劇」をつくりました。

子どもたちは、分からない言葉があると辞書を引くことが日常的になっており、古語の意味についても辞書で調べ始めました。しかし国語辞典では調べられないので、必然的に古語辞典の活用へと発展していきました。小学校では、古語辞典の活用や冊数の確保には難しい面もあるようです。中学校での国語科の学習内容との関連も見極めながら、小・中学校の学校図書館をととしたスムーズな学習の連携が図られることを望みます。



続・路子の部屋

No.5 まとめて発信する その3

「プレゼン用カード」が「プレゼンテーション」に!



シリーズ最終回は、紙芝居型「プレゼン用カード」が、実際の「プレゼンテーション」の発表原稿になることをお伝えします。

これまで、プレゼン用カードから「文章化」する手法をお伝えしてきました。

紙芝居はもともと言葉ではなく絵で内容を伝えるものなので、紙芝居型「プレゼン用カード」を使うと、子どもたちは内容を画面（絵）に置き換えやすく、イメージもしやすくなります。

また、「プレゼン用カード」は、「はじめ（序論）」「中（本論）」「終わり（結論）」の構成を子どもたちに意識させるものでもあるので、プレゼンテーションをするときに、伝えたいことを羅列するのではなく、話す順序や構成を考えた内容にすることができます。

もちろん、文章だけでなく「図・グラフ・映像」も一緒に提示すれば、プレゼンテーションの内容が充実して、相手に伝わりやすくなります。この時に使用した「図・グラフ・映像」の出典名は、「引用」の概念を持たせるためにも、必ず書かせるようにしましょう。とても大切なことですからしっかりと教えてください。



調べて・まとめて・発信する授業は、発信する内容が重要です。また子どもの「論理的思考力」を養うことも求められます。今まで紹介したスキルが、学校図書館をとおして子どもの情報活用能力の育成の一助となることを願っています。

図書館の窓から

～ひろげよう! 図書館の輪・リレー執筆～



図書委員会の今年のテーマは『ことばあそび』です。

現在、委員会発表に向けて、みんなで一丸となって大型紙芝居の準備に取り組んでいます。

この「大型紙芝居」の枠は前任の用務員さんの手作りです。他にも「返却ポスト」や赤い「読書郵便ポスト」などがあります。どれも校章の入ったぬくもりを感じる木製の立派な作りで、図書館で大活躍しています。

6年生は間もなく卒業式を迎えます。南新浜小学校を卒業した子どもたちが、いつかどこかで本を手にした時に、ぬくもりのあるこれらの品々に囲まれて過ごした、楽しい図書館での時間を懐かしく思い出してくれたら嬉しいです。

市川市立南新浜小学校 学校図書館員 倉田 朝子



校章

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

